

様式第 13 号（第 24 第 2 項）

見 積 業 者 選 定 経 過 書

1 業 務 名	令和 7 年度 長野県障がい児等療育支援事業
2 応募者数	1 者
3 評価会議の構成 座 長 構成員	伊那保健福祉事務所、伊那市及び駒ヶ根市 5 名 座長氏名 須藤恭弘 構成員氏名 井出毅 中野佐和子 牧田直子 吉澤美和子
4 選定基準	別紙のとおり
5 選定結果 選定された者 評価点集計結果（点数）	社会福祉法人 長野県社会福祉事業団 191 点
6 企画提案を求める 具体的内容	・ 療育コーディネーター配置予定者の適性 ・ 事業の具体性、実現性 ・ 地域療育における実績・所見 ・ 関係機関との円滑な連携体制の構築と連携方法
7 企画提案で 評価された点	・ 療育コーディネーターとして十分な経験を有している ・ 療育支援体制構築に貢献してきた十分な実績がある ・ 専門職員及び療育資源の確保が見込まれる ・ 幅広い機関との十分な連携が見込まれる
8 総合的判断	審査委員人数 5 人×30 点 = 150 点以上であるため、 見積業者として選定した。

(様式第 9 号)

令和 7 年度 長野県障がい児等療育支援事業（上伊那圏域） 企画提案審査基準表

	審 査 項 目	審 査 内 容	配点
1	療育コーディネーターとして配置を予定する者について	・ 障がい児の発達について精通しているか。 ・ 障がい児等への療育支援にあたって十分な経験を有するか。	5
2	事業全体の計画	・ 事業全体の計画において重視する点、理由が圏域の状況に即しているか。	5
3	事業経費の計画	・ 適正な計画となっているか。 ・ 専門職員、療育資源の確保に適正に事業費が配分されているか。	10
4	圏域の療育支援体制構築に関するこれまでの取り組み	・ 圏域の療育支援体制構築に貢献してきた実績があるか。 ・ 事業実施にあたって役立つ取組があるか。	5
5	地元自治体、圏域自立支援協議会等との連携	・ 圏域の行政、保育所及び学校、自立支援協議会等と十分な連携をとれる見込みがあるか。	5
6	圏域内（外）の施設、関係機関との連携	・ 必要な連携体制を構築して支援を実施することが見込めるか。 ・ 連携する関係機関は適切か。	5
7	圏域における療育支援体制の認識と展望	・ 圏域の療育支援体制の現状を的確に認識できているか。 ・ 課題解決にあたっての展望は適切か。	5
8	支援に必要な専門職員、療育資源の確保	・ 支援に必要な専門職員、療育資源（医療機関、通所事業所、学校等）を確実に確保できるか。	5
9	当該圏域で事業を実施するにあたっての加点要素	・ 圏域で事業を実施するにあたって、(10)特記事項の記載内容並びに法人の所在地、体制、配置予定者の経歴等等から、特に評価すべき点があるか。	5
合 計 点			50